

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2022年12月21日

事業所名 fun

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60%	20%		利用者の人数が多い日は窮屈感がある
	2	職員の配置数は適切である	70%	10%		利用者の人数が多い日は足りなく感じることもある 送迎で途中で抜けてしまう
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	90%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	0%		第三者は設置していない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	90%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	70%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	90%	10%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	新しい活動を取り入れている スタッフ間で話し合っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	90%	10%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%	打ち合わせ等に参加できない時は、ノートやホワイトボード、口頭で情報共有している	できるよう努めてはいるが、時間的人員的に難しい時もあるため、定期的に行う支援会議にて支援について話し合える時間を持ち、全指導員が共通理解できるようにしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	90%	10%	必ずとは言えないがホワイトボードの活用で共有できている	定期的に行う支援会議にて、支援について話し合える時間を持ち、全指導員が共通理解できるようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	90%	0%		
18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%			

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	80%	0%		ガイドライン総則は不承知という意見もあったため、ファイリングしたものを見やすい所に置くようにする
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校での様子、体調を聞くようにしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	0%		医療的ケア児の受け入れは現在ない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	90%	0%	卒業前・後も事業所に訪問させていただいて連携させていただいてる	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	研修等に参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	30%	70%	コロナ禍で少なくとも公園等は行け、交流したりしている	コロナのため交流は難しい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	80%	0%	2ヶ月に1度参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	60%	0%		口頭での支援はあるが、具体的に保護者が体験するような支援はない。療育参観やイベント等を通じて施設内でペアレントトレーニングできる機会があると良い。すべての保護者に対しては難しいと思う
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	40%	30%	就労先の事業所見学を行っている	以前はおしゃべり会の開催や夏祭りやクリスマス会等の行事に保護者の方も参加していただいていたが、コロナ禍の為現在は難しい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		苦情件数 0件
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	ホームページやInstagramにて発信している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	90%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	60%	10%	他県からの視察の受け入れや学校からの見学等の受け入れを行った	コロナ禍で不可 今後やっていきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	80%	0%	マニュアルは策定しているが保護者さんになかなか周知されずモニタリング時にお伝えするようになっている	全てのマニュアルはできていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に行っているが、その日に利用されていない保護者さんになかなか周知されていないためモニタリング時にお伝えするようになっている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	80%	20%	会議にて共通理解し事例をファイリングしている	事例集は不承知という意見もあったため、会議時に発信し確認・改善するようになっている